

～コロナ禍におけるバス利用促進～ 安全ではなく、安心を届ける 『「う・ら・ら」で安心おでかけキャンペーン』について

山本夏生（東浦町役場総務部防災交通課） 大野悠貴（名古屋大学）

経緯

- ・東浦町運行バス「う・ら・ら」は、2021年2月のダイヤ改正において、時刻や経路の見直し、増便、車両の大型化といった利便性向上策を実施
- ・町民に向けてダイヤ改正のアピールをしたい
- ・コロナによる「外出控え」の中で、バス利用促進の方法を検討

ポイント

- ・新型コロナウイルス感染症の防疫対策の周知は行っていたが、他の業界と同様、安全性を訴求するだけで人々の不安が払拭されるわけではない
- ・バス利用するしないにかかわらず、安心しておでかけができるという認識醸成と、おでかけしようという意識形成を優先

取り組み内容

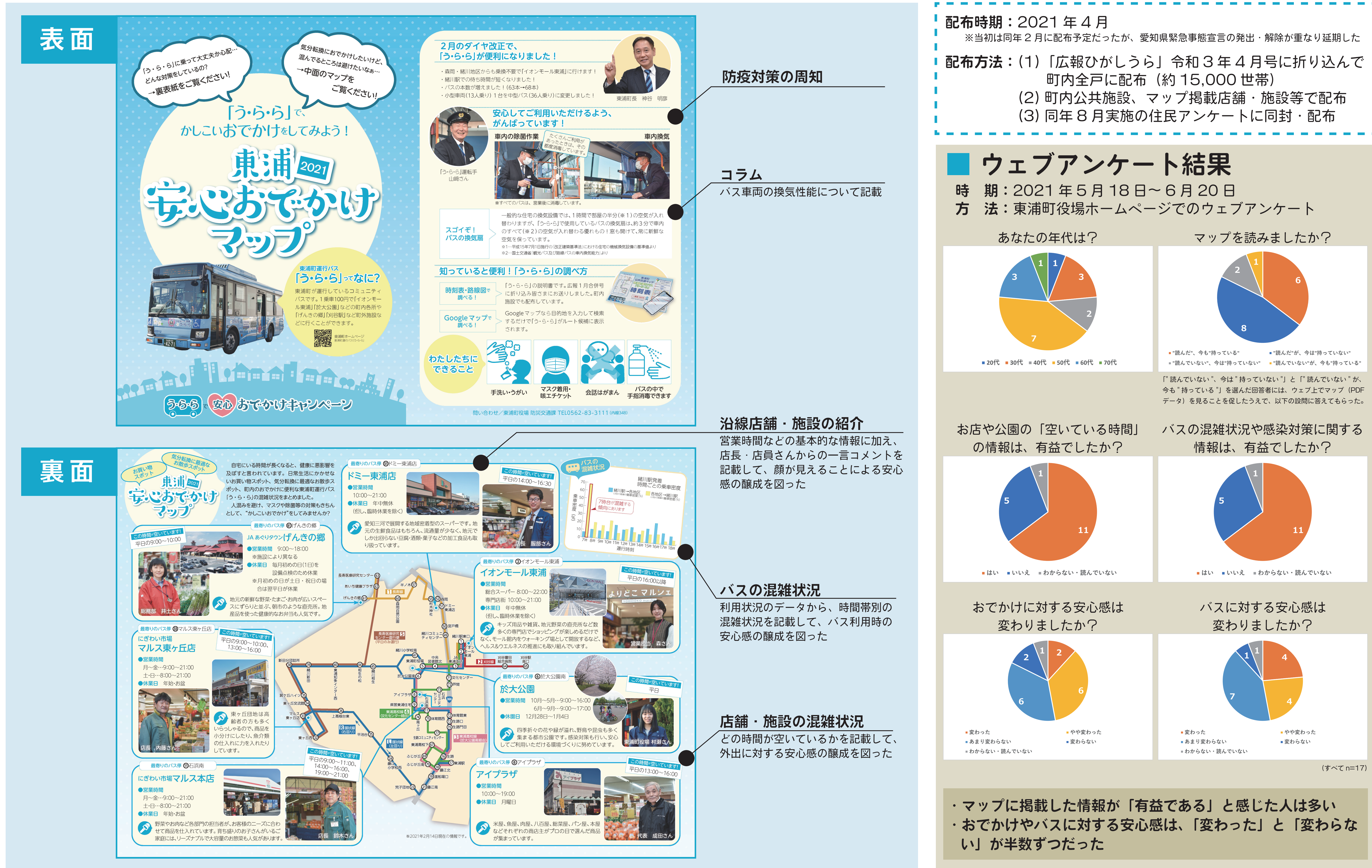
●ブランディング

- ・コロナ禍におけるバス利用促進策に対し、『「う・ら・ら」で安心おでかけキャンペーン』という名称を設定
- ・ロゴマークを作成し、従来の防疫対策周知も含めて取り組みのまとまり感を演出

●イオンモール東浦でのPR（2021年1月末～2月）



●東浦安心おでかけマップ 2021



今後に向けて

- 本キャンペーンの準備を進める中で、愛知県緊急事態宣言の発出・解除が重なり、ダイヤ改正に合わせて、全ての取り組みをうまく連動させることはできなかった
- イオンモール東浦にてバスの換気性能実演をはじめとしたリアルイベントも企画していたが、愛知県緊急事態宣言の発出に伴い、実施することはできなかった
- 一度落ちてしまった安心感を戻すために、本キャンペーンは継続的に行っていく必要があると考えている